



(有)林庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町991-6
TEL：042-622-8840
再刊 VOL.4

生きものが集まる庭を目指して！

真黒な川トンボが前羽根と後羽根をバラバラに動かす、特徴ある姿が良く見られるのが楽しみです。
また、渡りで有名な、アサギマダラという蝶が良く来る藤袴は、秋の

昆虫類や野鳥の多く集まる庭は、豊かさ心地良さが感ぜられます。
一例目の庭は、循環型の小さな流れが有り、もちろん、この小さな流れにメダカが泳ぎ、都会では、あまり見ることがなくなつた、オハグロトンボという、



トンボが小さな流れに集まるY邸



アサギマダラ

アサギマダラが集まる藤袴の花



七草の一つで、庭で数株でも有れば、風情とともに綺麗な生き物に出会えるというもの。
二例目の庭は、ブットレアの咲く川沿いの庭で、ブットレアの花は、別名、バタフライ・ブッシュという通り、いろいろなアゲハ蝶が集まってきます。種が飛んで根付いたこと事。
また、俳句の秋の季語で「柚子坊」とある。これは、アゲハの幼虫で、柑橘類には良くつくものですよ。気持ち悪がらず、たまには楽しみましょう。



ブットレアの咲きほころぶY邸近隣の川原



今回は、一寸漢字遊びをしましょう。
秋号なので、木(きへん)に秋と書いて何と読むのでしょうか？
木(きへん)に春はもちろん椿(ツバキ)。
木(きへん)に夏は榎(エノキ)。木(きへん)に冬は、柊(ヒイラギ)というのは皆様ご存知のとおりですが、木(きへん)に秋、楸という字は、あまり今まで見る事が少ない様に思えます。

読み方は(ヒサギ)と言うそうではどんな木なのかと言つと、学者の中でも、二つの説があります。
一つが、ノウゼンカズラ科の、キササゲと呼ばれ、しばしば川岸などに良く見る事が出来ます。
実が面白く、良く赤飯などに、小豆と異なり、実が破れることが少ないので、キササゲの豆を使う人が多い。そのキササゲの鞘によく似る果実

が房状に重なつたものが、秋頃見る事が出来ます。
この果実が厚く房状になることが「厚い房」が訛つて、この木こそが梓だという説です。
この梓が良く和歌にうたわれる梓弓で、昔は良く弓の材として用いられたそうです。
他の説は、トウダイグサ科の、目が赤く出ることから、アカメガシワだと言つたもので、むしろこの木こそが、ヒサギだとの説が多い。



キササゲ



アカメガシワ

天声樹語

弊社では、薬を使わず、小さな生き物がいない庭は、人間も生きづらい。を、口ぐせに土中の環境から、木の剪定の仕方、植木や草花の病気が、かかり易くならない庭の維持管理を目指してまいりました。
今号は、やや舌たらずの感がありました。秋は鳴く虫やら、冬に向つての鳥達の動きを楽しみたいものです。